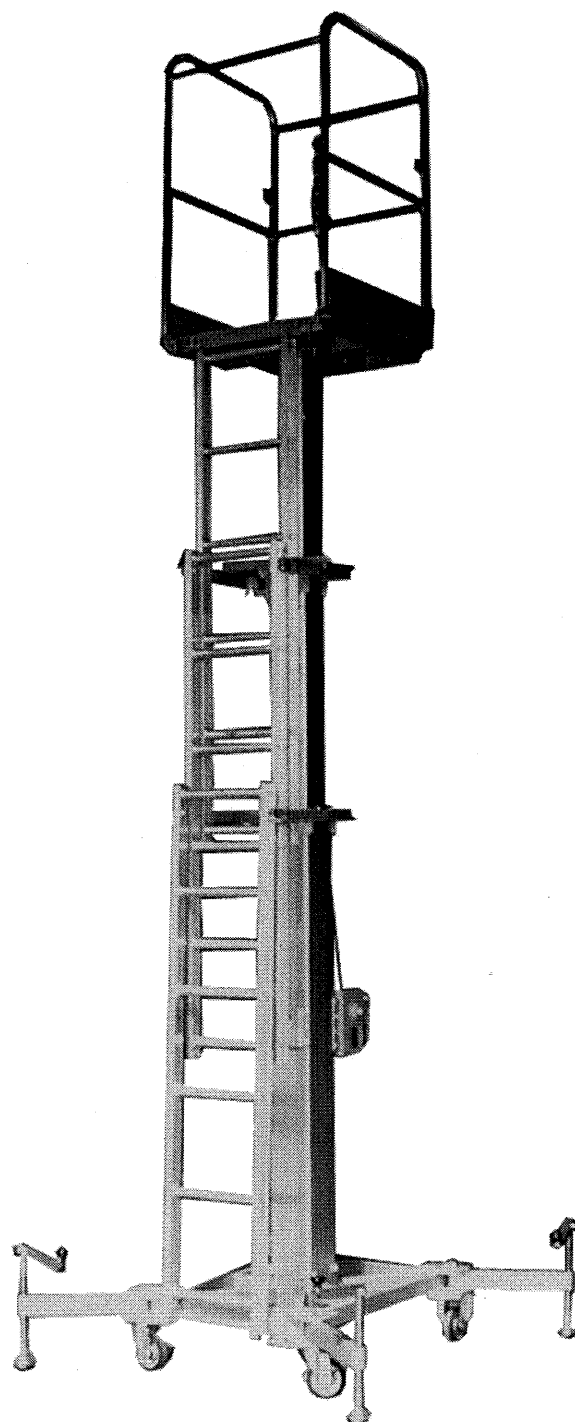


取扱説明書

WIRE-LIFT WQ44T/AKT10



この度は【ワイヤーリフト】をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の使用・取扱いの際は本製品の取扱説明書をよくお読みになったうえ安全にご使用ください。お読みになったあとはいつでも見られる所に保管してください。

安全上の注意

※ご使用前に必ずお読みください。

本製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし製品はすべて間違った使い方をすると故障や事故など人身事故を招く恐れがあります。事故を防ぐためにも次のことを必ずお守りください。

①安全のために注意事項を守る

ご使用上の注意、本製品の注意事項をよくお読みください。

②定期的な点検

年次点検、月次点検、使用前の点検を行ってください。

③故障したら使わない

リフト、ウインチ動作がおかしくなったり破損したことに気づいたら直ちに使用を中止し購入店もしくは弊社まで連絡ください。

使用上の注意

※ご使用前に必ずお読みください。

警告

- 本製品の改造や本説明書に記載されていない取扱いは絶対しないでください。
- 本製品が変形又は損傷した場合には使用を中止し速やかに交換してください。
- 分解や改造は火災や感電の原因となります特にウインチは分解しないでください。
- ウインチやワイヤーに異物が入ると故障の原因となります定期的に検査を行ってください。
- ワイヤーはむやみにひっぱったりしないでください。
- ワイヤーはこまめに清掃、注油し亀裂やほつれを点検してください。
- 自動車での移動はブレーキとアウトリガーをはって転倒などに注意してください。
- 乗員は一名です最大荷重以下で使用し一人での作業は禁止してください。
- 手すりから乗り出したりステージに脚立などを増すことは絶対厳禁です。落下転倒には充分注意し安全に使用してください。

注意

- 湿気やホコリ、油煙、湯気の多い場所での使用しないでください。なるべく避けてください。
- 異常に高温な場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近く、屋外、水のかかる場所に放置しないでください。変形や故障の原因になります。
- 海辺や砂地等での使用は砂ホコリが原因で故障するばかりか修理がきかない場合があります。
- 不安定な場所での使用は止めてください。落下破損、損傷の原因になります。
- 長期間使用しないときは全体に注油してください。

お手入れについて

使用後は汚れがついたときはきれいに拭取ってください。

本体のお手入れ

- 汚れがひどいときには水で薄めた中性洗剤に布に浸し固く絞ってから汚れを拭取ってください。
- アルコールやシンナー、ベンジン等は使用しない。変質したり塗装がはがれる恐れがあります。
- 可動部は定期的に注油してください。

ウインチのお手入れ

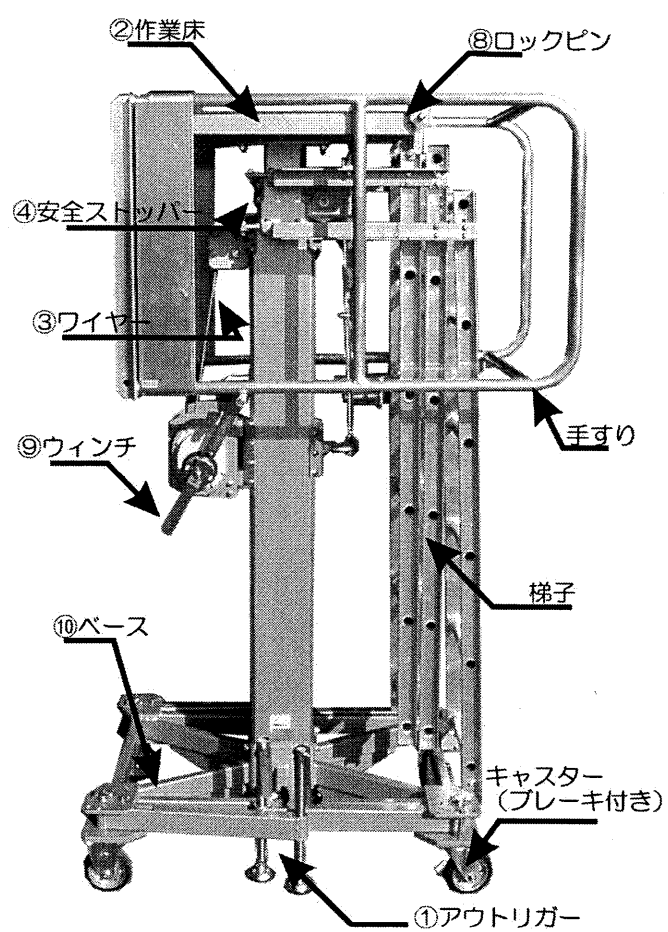
- ワイヤーの点検、清掃、注油

主な仕様

リフト	
モデル	WQ44T/AKT10
最大床高さ	4345+55=4400mm
収納寸法	H1900XW780X1200mm
自重	130kg
乗員数	1名(125kgf)
ステージ	600X600XH1000mm 可倒式手すり
接地対角／対辺	2100／1500mm
段数（ポール）	3段
移動キャスタ	Φ125
その他	
ウインチ	
モデル	富士製作所 PNW300
電源	-
回転	約40回
オプション	
水圧安全装置	切断落下防止機構(水圧ジャッキ方式)

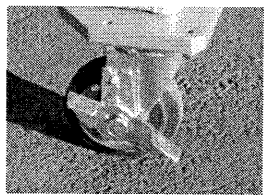
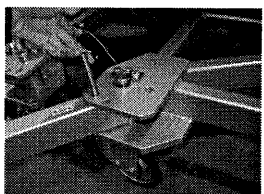
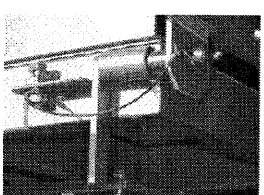
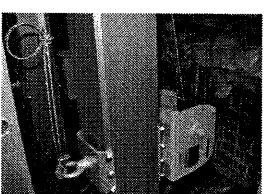
構成部品

リフト本体	取扱説明書／1冊

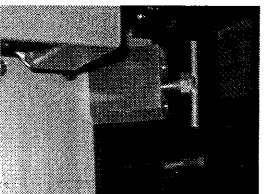


使用方法

リフトの準備

	キャストのブレーキ(2 個)をかけてください。フート(4 本)を開きピンを確実にセットしアジャスタハンドルで水平調整を行ってください。レベルはポールの根元にありますので参考にしてください。
	作業前にウインチ、ワイヤー、落下防止金具、スライドハシゴの異常がないか点検。異常があるばあい速やかに作業を中断し販売店又はメーカーへ連絡してください。
	手すりのRピンを外し手すりを引き上げてください。頭上注意！手すりが外れないよう作業前にしっかり点検し安全に十分配慮してください。
	ウインチを巻き上げる。正常に作動しているか？任意の高さまで巻いてください。確認の上スライドハシゴから登ってください。

登る

	スライドハシゴを登りながら落下防止ブレーキをかけてください。作業する際は必ず行ってください。下降時には解除。 1 段目、2 段目の角ポール先端にあります。 ワイヤーが切れたら解除は慎重に行ってください。
---	--

故障診断

上昇しない	
原因	対策
巻き上げられない	ウインチの修理又は交換
ポールに傷やヘコミがある	ポールの修理又は交換。メーカー工場へ戻す。
落下防止ブレーキがかかっている	落下防止ブレーキの解除

作業台使用基準

1. 適用

この基準は（社）仮設工業会の高所作業台の使用方法等について定める。

2. 使用方法

高所作業台を使用するに当たっては、次の事項によるものとする。

- 作業者には、あらかじめ安全な使用についての教育を行うこと。
 - 複数の人数で使用する時は作業を指揮するものを選任し、その者に作業を指揮させる。
 - 手摺り、中さんなどを止むを得ず取り外したときは安全帯の使用など墜落による作業者の危険を防止するための処置を講ずること。なお、取り外した手摺りなどは、その必要がなくなったとき速やかに元の状態に戻すこと。
 - 作業中は保護帽を着用すること。また、安全帯使用が命ぜられた場合には安全帯をする。
 - 作業中に作業関係者以外の者が作業区域内に立ち入ることによる危害を防止する為、その周辺には柵、囲い又は標識などにより立ち入り禁止区域を明示すること。
 - 作業を安全に行う為の作業に必要な照明を確保すること。
 - 作業床上では、脚立、椅子などを使用して作業をしないこと。
 - 複数の作業台を併置してその上に足場板などを掛け渡して作業床として使用しないこと。
 - 目的外の用途に使用しないこと。
3. 高所作業台はむやみに分解、組み立てを行わないこと。
4. 高所作業台の使用に当たっては次によるものとする。
- 原則として作業板を最低高さまでに下降させた後に行うこと。
 - 作業者を乗せたまま行わないこと。
 - あらかじめ床面の凹凸、障害物などの状態を確認し移動中の転倒を防止すること。
5. 高所作業台の設置に当たっては次によるものとする。
- 作業床をできるだけ水平に保つこと。
 - 不意の移動を防止する為ブレーキ、アウトリガー又は、ジャッキ等を確実に使用する。
6. 高所作業台に荷を積載するに当たっては次によるものとする。
- 最大積載荷重の表示を確認しこれを超えないこと。
 - 材料等を載せるときは転倒防止のため偏心しないように配慮すること。
7. 架空電路に接近して定置し作業するときは電路電圧に応じた絶縁性能を有する物を使用するか、架空電路に絶縁防具などを装着する等、架空電路との接触による危害防止する為の措置を講ずること。
8. 高所作業台の検査及び点検は告げによるものとする。
- 年次検査は1年以内毎に1回定期に検査を行うこと。
動力などに作動するものの検査は荷重試験により行うものとし最大積載荷重に相当する試験荷重を積載して上昇及び下降の作動を定格速度により行い以上の有無を確認すること。
 - 月例検査は1ヶ月以内に1回定期に検査を行うこと。
 - ▲昇降装置の異状の有無
 - ▲移動装置、ブレーキ等の異状の有無
 - ▲操作装置の異状の有無
 - ▲作業床及び支持構造の異状の有無
 - ▲安全装置の異状の有無
 - ▲圧系統及び電気系統の異状の有無

メモ

保証期間：ご購入後 1 年間
消耗品や破損によるものは対象外です。

<販売元>
長谷川工業(株)
大阪市福島区海老江 7-23-4
TEL06-6458-6591
<製造元>
サンマックス(株)

